

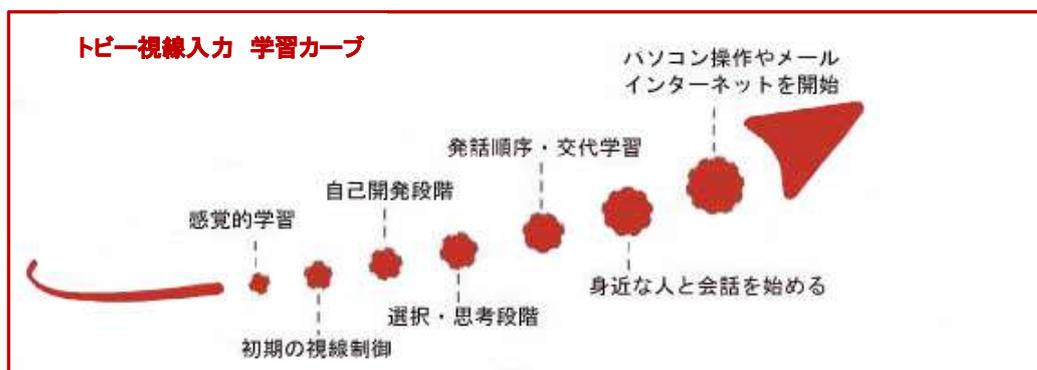
# センサリーアイ FX (Sensory EyeFX)

## (トビー視線入力装置の感覚的学習ステップ)

センサリーアイ FX は視線を使ったコンピュータ入力(操作)の初期段階を学ぶのに、最も適したソフトウェアが 30 セット用意された学習ソフトです



センサリーアイ FX は 30 種類のソフトウェアの 5 グループから構成され、何の準備 (キャリブレーション) もせずにスクリーン上に注意を向ける練習から開始して、一步一步段階的に学習することが可能です。視線入力 (コントロール) により、最終的に会話や文章作成、インターネット、E-メール、ゲームなどができるようになる前に、入門編として 5 段階に体系化されたこのソフトウェアを利用することで、容易に視線入力装置の仕組みや使い方などを学習できるのがセンサリーアイ FX の大きな特徴です。



- 四肢麻痺があり発話が困難な利用者が、初めて視線入力装置を試した時にすぐ使えるようになるのは簡単なことではありません。とは言え家族や介護者にとっては利用者が練習すればうまく出来るようになるのか、しくみが理解できているのかを判断することはしばしば困難です。
- トビーでは視線による制御やインタラクションは、他の装置と同様に1つのスキルだと考えています。視線入力ですぐ言葉を覚えたり、会話、読み書き、メールやパソコンができるようになるには、実用的かつ認知的スキルを学ぶ過程において、個々の利用者を手助けするための段階的に構成された体系的なトレーニングが必要と考えます。
- センサリーアイ FX を使えば、スクリーン上に注意を向ける練習から、「因果」の理解、特定の対象を注視する、特定の対象を追従する、スクリーン上の上下左右広い範囲に目を向ける、一定時間を注意し続ける、より長い時間集中する、より正確にものを見分けるなどの練習が段階を追って体系的に行えます。
- これにより小さな文字やシンボルを選択するのに必要な準備(キャリブレーション)が出来るようになり、一定時間見ることによって何かが起こることが理解できているので、視線によるコミュニケーションの学習に入れるようになります。
- このソフトは、視線入力が必要な利用者だけでなく例えば学校ではクラス全員の子供たちの、注視や集中、視線の停留や追従、視野や因果の理解について評価するのに非常に適しています。

総輸入販売元: 株式会社 クレアクト アシスティブ事業部 代理店:

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-8-13 五反田増島ビル 4 階

TEL: 03-3442-5401 FAX: 03-3442-5402

メール: info@tobiijatj.com Web: www.tobiijatj.com

## レベル 1 : ディスプレイ画面になじむための第一歩

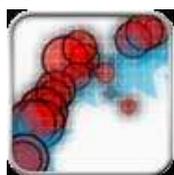
第一歩として先ずは画面に現れる単純な画像を見ると何か変化が現れたり、動作がスタート、ストップする単純なソフトウェアが5種類、用意されています。この段階では視線で“何か”が起こる実感が得られ、理解が深まります。



感覚的な円



揺らぐ爆弾



星の軌跡



音声 Matrix



反転移動



動くへビ

## レベル 2 : ディスプレイ画面上にオブジェクトを配置する

何かものを画面上に配置することは目標を操作する第一歩です。ここでは画面上のある領域にあるコンテンツに反応して、その近辺を如何にして変化させるかを知る過程です。即ち、視線によりターゲットを捕捉する感覚を学びます。



かくれんぼ



隠れた爆弾



弾むターゲット



破裂する水玉



水玉つぶし



散らばる水玉

## レベル 3 : ディスプレイ画面上の領域(エリア)を追いかける

特定の領域を追いかけて何かのイベントを発生させる動作は視線でカーソルを移動させることを学ぶ第一歩です。これにより感覚的にマウス制御を体験し、パソコンを色々制御するテクニックを学ぶことができる重要な段階です。



色の変化



画像の移動



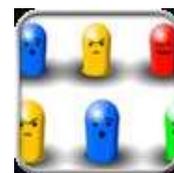
松明の追跡



動物の追跡



電球の点滅



モグラたたき

## レベル 4 : 自ら学び、自らを啓発するプロセス

画面と一体となって何かの動作を行うことは重要なステップです。自ら音楽を演奏したり、色を塗ったり、射的ゲームをすることで視線による制御の面白さを感じ、感覚的にパソコンを操作する知恵がついてきます。



色を塗る



的を射る



射的



動く目標



ピアノ演奏



ドラム演奏

## レベル 5 : 自ら視線でターゲットをコントロール

ターゲットをコントロールする動作はより高度な正確さが求められる視線制御で、この体験で注視することの重要性を感覚的に体験します。視線を正確にターゲットに充て、必要時間、注視することで、より高度な制御ができることを学びます。



風船を制御



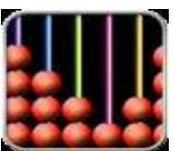
神経衰弱



惑星ゲーム



蜂をつかまえる



そろばん玉



音楽演奏